Betrayed S Rank adventurer I make slave-only harem guild with my loving slaves.

裏切られたSランク冒険者の俺は、彼女らと共に愛する奴隷だけのハーレムギルドを作る

4

原作 柊咲
漫画 川田暁生
キャラクター原案 ナイロン

★この作品は、デジタル配信用に再編集を行ったものです。

裏切られたSランク冒険者の俺は、愛する奴隷の彼女らと共に奴隷だけのハーレムギルドを作る。

Betrayed S Rank adventurer I make slave-only harem guild with my loving slaves.

4

原作
柊 咲

漫画
川田暁生

キャラクター原案
ナイロン

CONTENTS

第25話
タイプじゃないけど、相手してあげる ― 003

第26話
一度甘えたら何度も ― 019

第27話
求めてやまん湖（みずうみ）の力 ― 035

第28話
ハーレム・キングダム ― 051

第29話
あふれている？ どこに？ ― 067

第30話
至極、当然の大量発射 ― 085

第31話
エキゾチック・邪・パンツ ― 101

第32話
俺は出る、俺は出す。 ― 119

第33話
契約時に必要な淫姦 ― 135

この作品はフィクションです。
実在の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

お父さん
大丈夫かな？

はあ？

あいつは
あたしたちを
おいて

一番最初に
逃げたんだぞ

第25話 タイプじゃないけど、相手してあげる

でも私たち
騎士さんたち
おいて逃げて
きちゃったよ

あたしは
ルナの命の方が
大事なの！

これで
いいんだよ

母さんと
約束したんだ

サナは少しだけ
お姉さんだから
ルナを守って
あげて

約束ね
サナ

うん

必ず

ルナは
あたしが
守る！

あたしたちが
クエストで稼いだ
お金を他の女に
貢(みつ)いだって？

ドロー

母さんを
助けるんじゃ
ないのかよ！

うるせぇな

俺だって辛いんだ

この人は……もう駄目だ

お父さんについてきたの間違いだったのかな

わからないでも母さんの薬代を稼ぐには

ガーン

!?

ルナ
離れて！

え!?

うわあっ

ドゴーン

くっ

サナ
大丈夫？

ガルル

あいつらが
来たってことは
騎士の人たちは
殺されたのか…

ぐぐっ

ルナ…
逃げて

サナも一緒
じゃなきゃ
やだ…

あたしは
あいつらの
相手をする

だから
早く逃げて

サナ！

お姉ちゃんの
言うことが
聞けないの！

うう…

今ここで
二人が
死んだら

誰がお母さん
助けるんだよ
……

ガラ

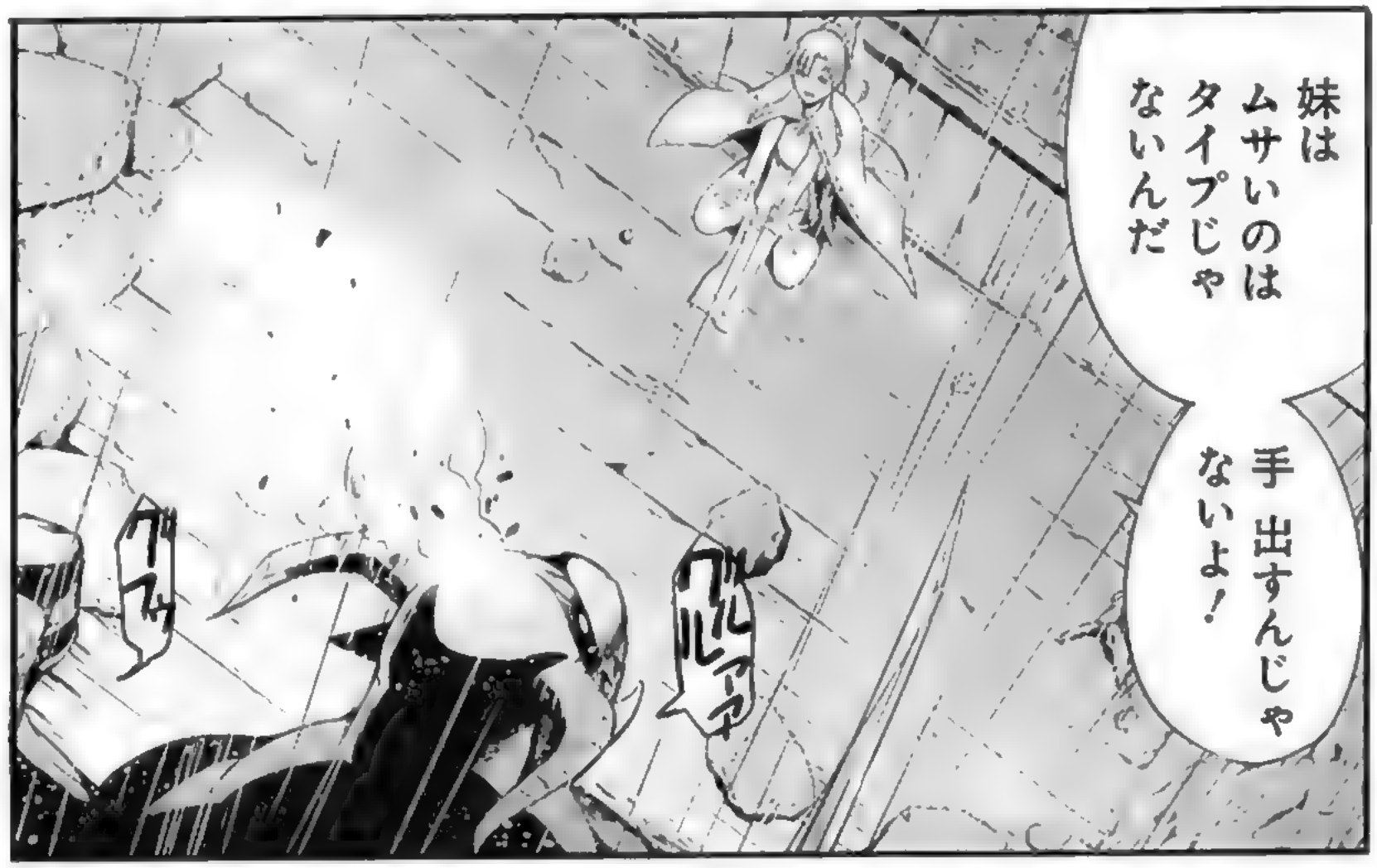
ガラ

絶対誰か
呼んで助けに
来るから

待ってて
サナ！

ダッ

ドッ
光の爆撃を——
エンジェル・
ノヴァ！


妹は
ムサいのは
タイプじゃ
ないんだ
手 出すんじゃ
ないよ！

聖なる光よ——
ヒーリング！

あたしも
タイプじゃ
ないけど

相手して
あげる！

おっと

せっかちだと
モテないよ

光の爆撃を
――

ズオオオ

ああ
もうっ！

あたし
弱すぎ……！

でもルナは
逃げられた
よね

時間稼ぎには
なったよね

お母さん――

妹を守るって約束
お姉ちゃん
守ったからね

だから
褒めて…

お前は立派な
お姉ちゃん
だよ サナ

!?

無限剣舞（エンドレス・ソード）

この技は
――
エギル…
さん…？
間に合った
よく
頑張ったな
サナ

うあああああ

サナ！

ハグッ

ルナ

サナ

ありがとう
ルナ

ゴルアア

おい『裏切り者』
そいつらを通して
見ているんだろ

こんなに
人を殺し傷つけ
お前の目的は
なんだ？

もうこれ以上は
やらせない

すぐに
会いに行ってやる

待っていろ!!

裏切られたSランク冒険者の俺は、愛する奴隷の彼女らと共に奴隷だけのハーレムギルドを作る

……

!?

第26話
一度甘えたら何度も

ズシーン

ズシーン

第三の門に
向かった

『裏切り者』は
城内か――

俺はこの先に向かう

ここでエレノアたちを待つんだ

終わったら全部話してもらうぞ

わかりました私たちの力になってください

ルナ!!

あたしたちはエギルさんに依頼できるほど大金持ってないんだよ！

俺は別に……

駄目

一度甘えたら何度も甘えちゃう

あたしたちが
その願いに見合う
対価を支払わなきゃ
いけない

それほどのことを
エギルさんに
頼もうとしてるの!!

じゃない と
……

あたしが
納得できない
……

サナ…

見合う
対価か…

じゃあ
……

サナ
はい！
ルナ
は…はい！
二人には俺の
奴隷になってもらう
ど…どどど奴隷～
えっ？
どういうこと？
あわわわ
お前たちが勝手に無茶な行動をしないように

自由を奪う
それが対価だ

キュッ

エギルさんの
奴隷に

なる…
なるよ

だから
お願い——

あたしたちを
愛して
女として！

ササササ…
ナナなにして
るの？

あわわわ
かああああ

契約だよ
奴隷奥さんに
なるための
契約

キスするの？
じゃあ奴隷に
なったら…

あんなことや

こんなことや

ぬぉ～

あわっ

そ…そ…そんなことまで～

でもサナがなるなら…

私も――

…これで
契約成立
だな

戻ったら
今後について
話そう

気をつけて
ください

絶対
帰ってきてね

ああ
必ず！

ダッ

俺がどんなに真剣に
守らせてほしいと言っても
二人は聞かないだろう

奴隷という形で縛れば
申し訳ないという感情を
二人が持たなくてすむ

あとは
俺の仕事だ

ザアアア

オーガの血
これを辿れば

ヌル

上か……

ふくっ

くくく最高〜

や……
やらないぞ

これは
アヘロイン
こんなものの
ために命を
かけるほど
薬物中毒
だったか

だが…
こいつじゃない

ふひっ

気持ち
い～

7ル

我の存在に
気づいて
おったか

やはり
お前が――

『裏切り者』!!

裏切られた

Sランク冒険者の俺は、

愛する奴隷の

彼女らと共に奴隷だけの

ハーレムギルドを作る

第27話 求めてやまん 湖の力

やはり
お前が
『裏切り者』か

目的は
何だ？

お主のような
者と話をしな
かったのじゃ

俺のような

どういう
意味だ？

我と同じ
Sランク
冒険者

いや 神に
選ばれし

先導者の…器？

冒険者には限界がある 選ばれた者しかSランクにはなれぬ

お主はどうやってなったのじゃ？

『先導者の器』に！

俺は――

ズッ

経験と戦歴を
積み重ね

冒険者に職業を
与えてくれる
この聖力石(せいりょくせき)を

『神の湖』に
投げ込む
ことで

Sランク
冒険者に
なった

そうー

それだけで
我々に力を
与えてくれる
『神の湖』

ならば
『神の湖』自体は
どれほどの
力を持つのか

ドロー

タッ

タッ

我は
この手に
『神の湖』を
独占したい
のじゃ!!

そんなことを
すれば世界中の
冒険者を
敵に回すぞ

それも
厭(いと)わぬ!

ズ…

ガァアアアァ

魔物の王だな

魔物を操る…これがお前の能力か？

我は魔物を導く者『魔導者（ヘガリアッテ）』

魔王

と呼ぶがいい

その方が相応しい

待つのじゃ

それだけの力を持ちながら

なぜさらに力を求める？

お主と同じ…我を想ってくれる家族を守るため

我は――

神龍殿で生まれ
ドラゴンたちに
育てられた

神龍殿…
あの凶悪な
ドラゴンの
生息する
神殿か

魔物が
人間の子供を
育てるなんて…

本来 魔物たちは
とても優しい
存在

魔物は
我の家族じゃ！

こんな我を
みんな愛し
育ててくれた

だが人間どもは
悲しむ者がいる
ことも知らずに

ただ自らの
強さを証明し
力を得るために
魔物(かぞく)を殺す

ならば
魔物(われわれ)が
生き残るには

人間を
皆殺しにする
しかあるまい

そのために
冒険者を殺し
奪った聖力石を

魔物に与え
職業(ちから)を手に
させたのじゃ

だが

お主の力は惜しい

お主も奴隷の娘たちを守るのに力が必要じゃろ

我らとともに来ぬか？

断る！

力は必要だが全てではない！

ほう 我に歯向かうのか

しかし

お主の剣も
無限では
あるまい

これだけの
魔物を

相手できるの
かのう？

読まれている
……

案ずるな 今日は
お主と話をした
かっただけ

我はこのまま
帰らせて
もらおうかの

行かせるか

無限（エンドレス）

!?

これは操られての行動なのか

それともレヴィアを家族として守ろうとする行動なのか？

く…っ

グッ

躊躇(ためら)ったか
エギル・
ヴォルツ

ザアアー

やはりお主は
優しいのう

そんなお主に
褒美じゃ

コロロ

これは
ハルトの仲間の
聖力石が…

もうひとつ
良いことを
教えてやろう——

ゴゴゴ

何!?

これより
人間も魔物も
含め

世界は
大きく変化
する

そして
大きな力を持つ
お主も その渦に
必ず飲み込まれる

その時
大切な者を
守るため
お主は——

どの道を進むか
選択することに
なるであろう

『先導者の器』
として――

裏切られた

Sランク冒険者の俺は、

愛する奴隷の

彼女らと共に奴隷だけの

ハーレムギルドを作る

第28話
ハーレム・キングダム

世界が
変わる…？

そう――

そして
その中心と
なるのは

我々
闇ギルド

『終焉（しゅうえん）のパンドラ』
であろう――

ではな

無欲な
先導者

ザアアア…

エギル様

約束
守りました

エレノア…

お帰り
……

エレノア

ただいま
エギル様

あの少女が
『裏切り者』
だったの
ですか？

『裏切り者』
というよりは

敵だ

敵？

どういうことですか？

世界では……

そのような
ことが
起きようと
してるのですね

エギルさんは

どうするんですか？

俺は
自分を想って
くれる人たちを

大切な人を
守れればいい

エギル様らしいですね

こんな俺と一緒にいてくれるか？

もちろんです

一生ついていくと決めてます！

ああ――

ズルい!!

私も

ずっと一緒ですから！

ああ……

大胆だなぁ

変態

サナルナ

これからは遠慮なく何でも話すんだぞ

うん

はいです！

フィーも
よろしくな

うん
ちゃんと
養ってね

ああ
わかったよ
それから

ハルトの
行方を
知りたいんだが

あの人なら
――

大変な役目を
任せておきながら
自分だけ
逃げてしまい

本当に
すみませ
でした
ん

俺の方こそ
『裏切り者』を
取り逃がして

すまない
……

そ…
それは

エギルさんが
悪いわけ
では…

お前も同じだ
今お前が
やるべきことは

俺に謝る
ことじゃない

ゴソゴソ

こいつを
仲間の墓前に

供えて
やってくれ！

こ…これは
仲間の聖力石
……

ああ…

う…ううう
…あああ
……

あ…
ありがとう
ございます

こうして
多大な犠牲を
払い

『ゴレイアス砦
攻防戦』の
クエストは
幕を閉じた

家族が
一気に増えて
あの家では手狭
かもしれませんね

それも
あるが

世界に危機が
迫る中で

今まで通りでは
大事なものは
守れない

身を隠して
暮らすって
こと？

いや このまま
冒険者をして
いるだけでは
ダメだ

だから――

みんなで
守りあう
の？

冒険者を
集めて

さすが
フィー
その通りだ

まずは
俺たちで
ギルドを作る

ギルドを
組んでない者は
信用されない
からな

へ!?

あたしたちで
ギルドを
組むの？

私はいいと
思うな

モグ

モグ

知ってる？
ギルドって元は
『家族』って
意味なんだよ

じゃあ
わたくしたち
奴隷ギルド
ですね♥

えー もっと
素敵な
名前がいいよ

名前は
何でも
いいが…

ここを拠点に
大勢の冒険者が
暮らしてくれれば

平穏を
奪おうとする者は
現れないだろう

エギル様の
お考えと
いうのは

もしかして

ああ

このゴレイアス
砦に

俺たちの国を作る！

第29話
あふれている？どこに？

『コレイアス砦攻防戦』が幕を閉じて

ドーン

一か月――

城や街の修繕は進んでいたが

集まった冒険者（こくみん）は百人程度だった

あっ

ああん♥♥

あぁっ♥
激しい
あ、あん
もっと
乱暴にして
ください♥
あぁ♥
相変わらず
変態だな
エギル様が
お忙しくて全然
シてくれないので
皆が国造りに
勤(いそ)しんでいるのに
誘ってきて
我慢
できなかったん
です♥

ならば久々に
たっぷり出して
やる！

だ…出して
ください奥に

あん♥

びくっ

もう
イキますっ

ぐぽっ

ぐぽっ

ぐぽ

商人の方が来てます 急いでください

わかった

あーんもう少しでイケたのに～

セ…セリナ何するんだ!?

ここを大きくしたまま

レロレロ

こちらも使わないと間に合わないですね

ぷるん

人に会わせるわけにはいきません

れろ♥
れろ♥
れろ♥
ビクビク
ビクビク
ビクッ
出すぞセリナ
うっ…
ビクッ
は～♥
は～♥
ぷにぷに
キュン♥
キュン♥
キュン♥

んんっ

ん～～♥

ゴクン

ゴクゴクゴク

気持ち良かった

良かった

早くお客さんの元へ

ギッ

うおりゃあああ

ダッ

サナは元気ね

～～～

セリナ
口元に白い
ものが

あせっ

えっ
うそ!?

やっぱり
エギル様の
ものを！

へー
セリナさん
何してたの？

そ…
それより

エギルさん
今日は商談
上手くいく
かな

今のところ
全て断られて
ますからね…

そんなに
難しいん
ですか？

そうですね
人がまだ
少ないですから

そこが一番
問題よね

パサッ

この条件は厳しいですね

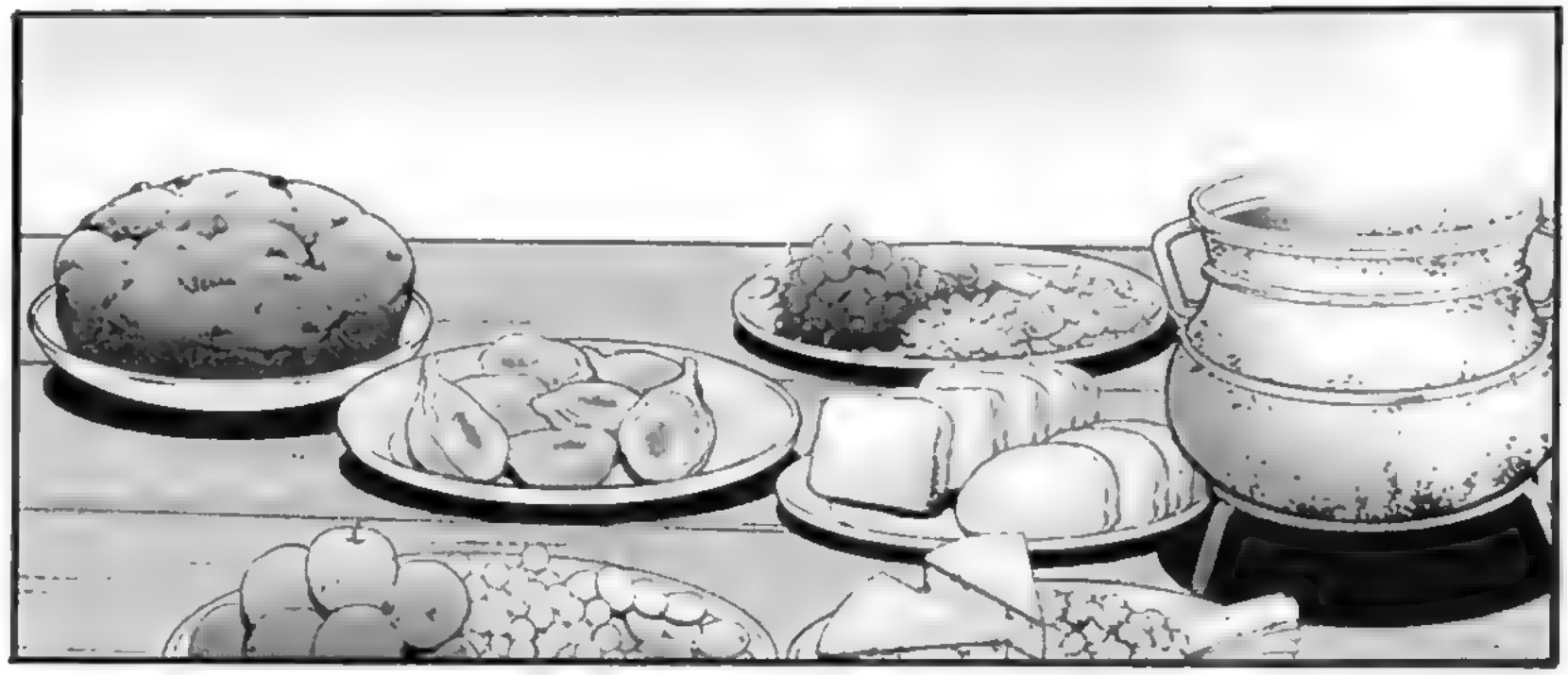
エギルさんの冒険者としてのご高名は伺っております

しかし私も商人――稼ぎにならないものに時間はかけられません

まずは人を集めるのがよろしいかと――

今日も駄目だったようです

そっか……



私にある提案がある

だ今エギル今日も駄目だったの？

フィーさん！

ああ国民が少なくてな…

人であふれている所から

移住してもらうのはどう？

あふれている？

いったいどこに？

わたしの住んでいた

シュピリール大陸

あそこは人どうしがずっと争いを続けていてと

普通の生活ができない人がたくさんいる

エギルが
救おうと
するなら

可能性は
あると思う

なるほど

お待ちください
あそこは野蛮人
だらけと
聞きます

わたしも
こっちの人を
そう思っていた
お互いさま

……

旦那は
どうしたいん
ですか？

俺か
……

俺は

行動したい！

この国の未来を

自分の手で掴(つか)むために！

わかりました シュピリールは 海の向こうの国 船が必要ですね

明日の夜までに手配します！

旦那がいない間

この国を守るために冒険者に声をかけておきます

ありがとう 留守を頼む！

じゃあわたしは

エギルと一緒に行く

道案内が必要でしょ

待ってるね
エギルさん

気をつけて
ください

二人も
無理はするなよ

行って
くる

行って
らっしゃい
ませ…

二人が
帰ってくるのを
ここで待ってます

心配？

まあな

正直俺も
こんなに
寂しいとは
思わなかった

だが
俺は信じている

家族になった
皆の心の強さを
夢が叶う未来を

フィーも
含めてな

ふーん
ありがと

成し遂げて
みせる

行こう

シュピリール
大陸へ！

もう少しでエギル様でイケたのにセリナのバカ～～～
きゅんっ
きゅんっ

裏切られた

Sランク冒険者の俺は、

愛する奴隷の

彼女らと共に奴隷だけの

ハーレムギルドを作る

足元に
お気をつけて
こちら
です
ああ

これが
ゲッセンドルフが
手配した船か
ノドロ

第30話
至極、当然の大量発射

では操縦の説明を

中央の宝玉に魔力を込め 魔導エンジンをかけ

あとはこの操舵装置で舵をとってください

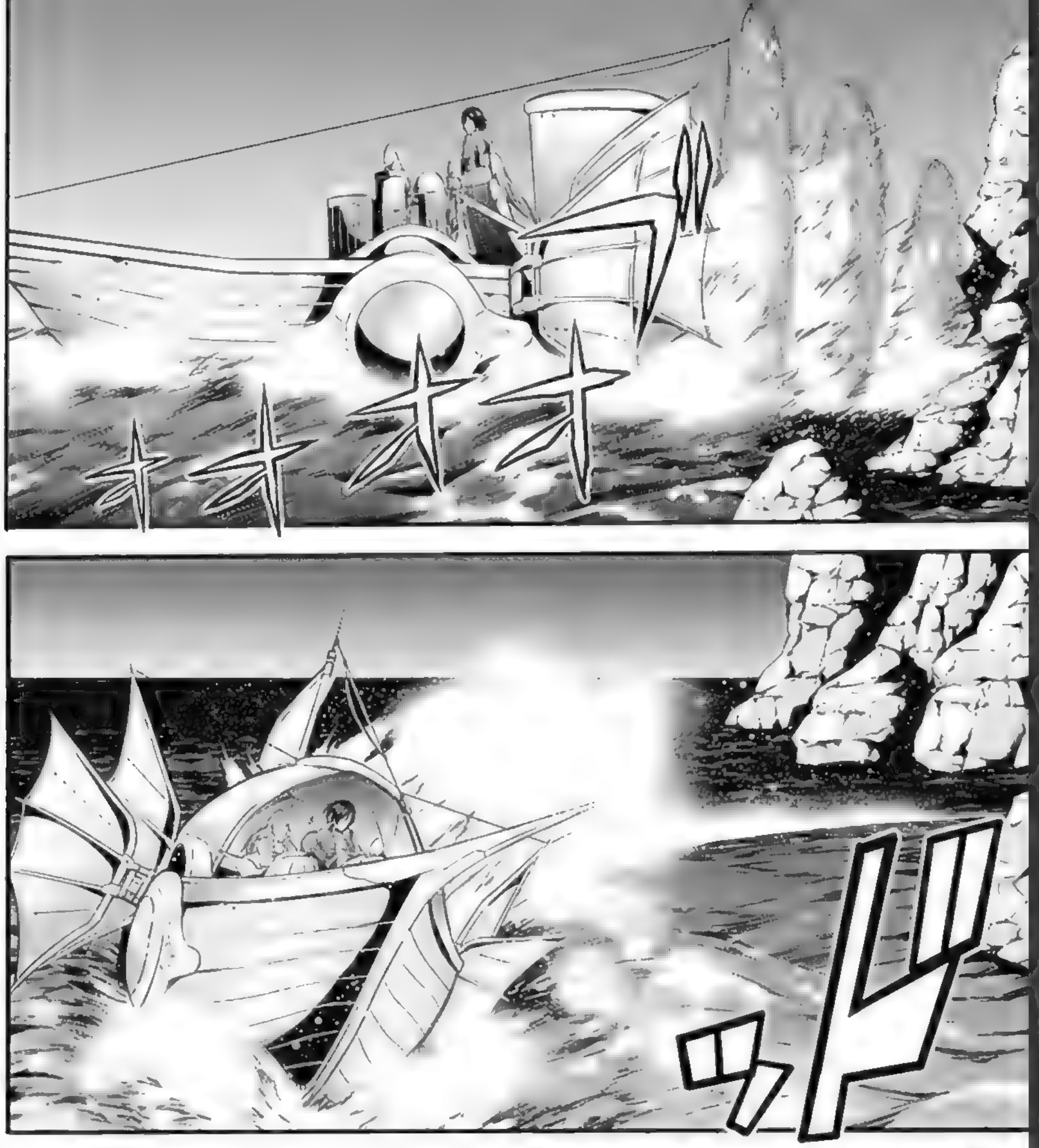
よし
行くぞ！

いろいろ
ありがとう

お気を
つけて

フィー
準備は
いいか
？

うん



ドドド

この
生き方しか
できないんだよ

疑うより
信じたいんだ
！

ふーん

エギルって
すぐ騙(だま)され
そうだね

だいぶ来たな…
灯(あか)りだ

陸が
近いぞ

あれが
見張りから
報告のあった
船？

『終の国』め
海からこっそり
侵入を企むなんて
愚かなことね

いかが
いたします？

当然

撃退
して！

ドキ

何だ!?

ドキ

大砲…か

ドドドド

俺たちの大陸じゃ
職業の力に
取って代わられ

使わなく
なった代物だ

ギュオオオ

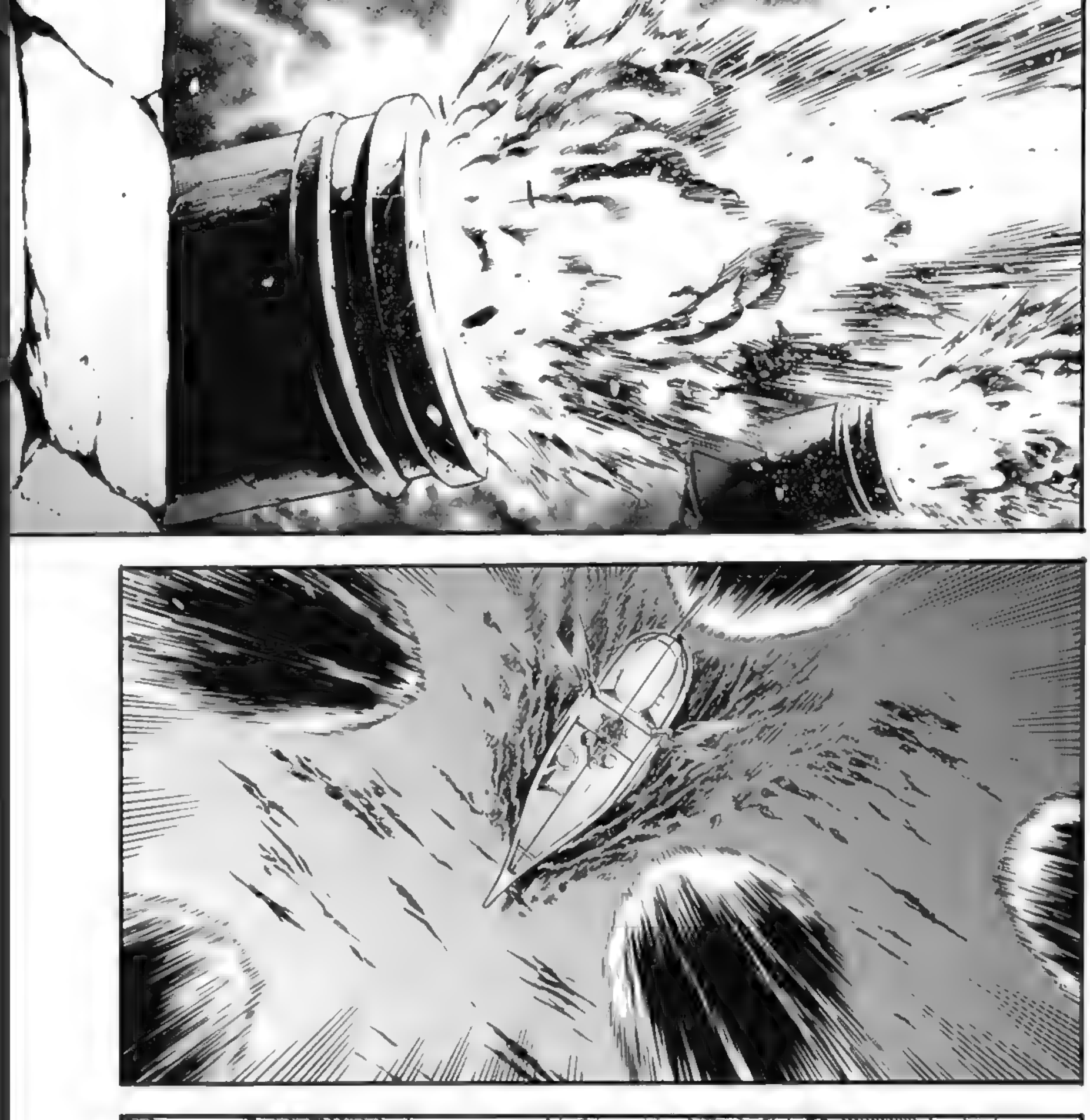
『終の国』の者よ
領土侵犯は
死を意味する

それを
知っての
狼藉か？

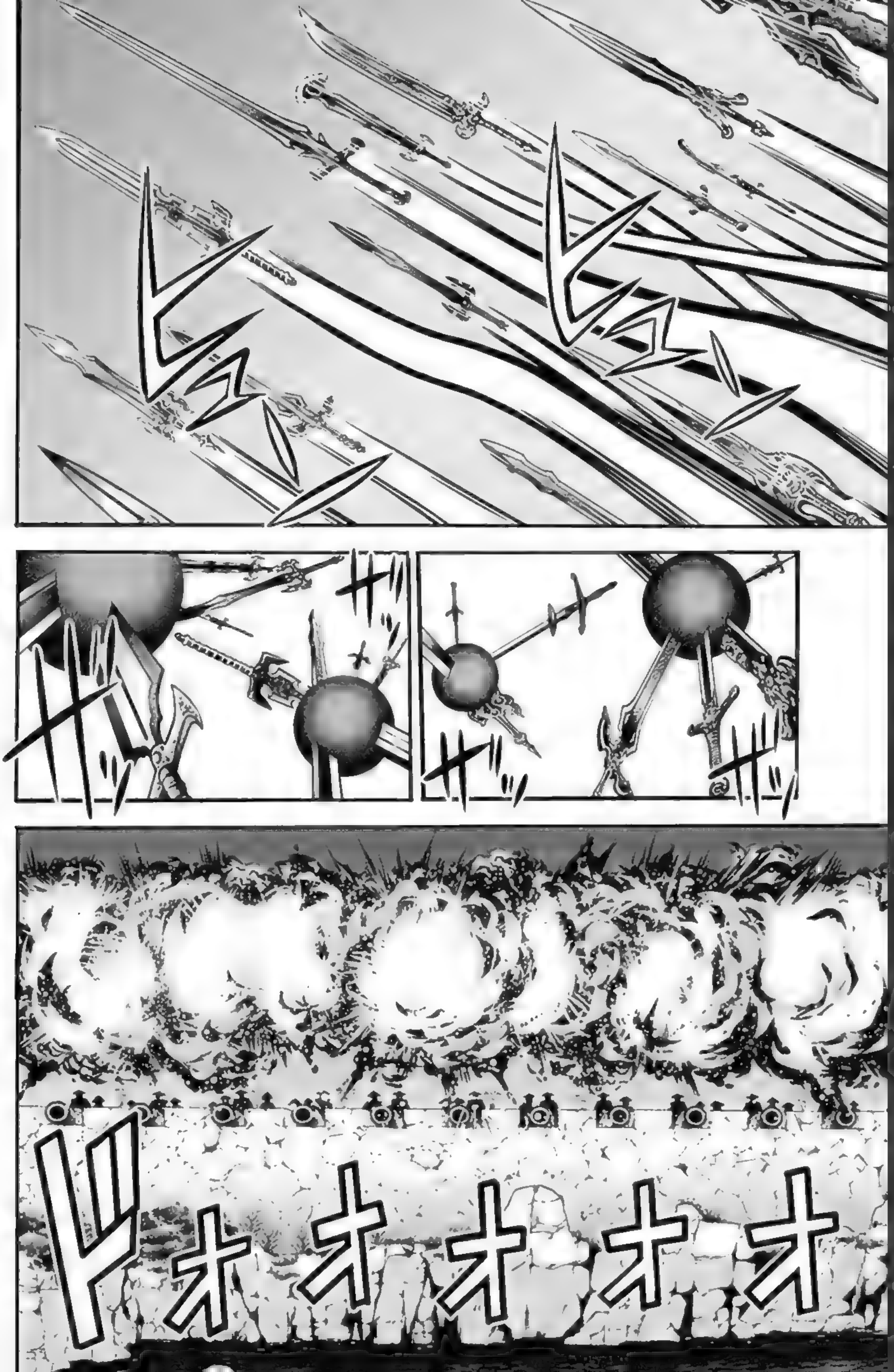
『終の国』？

待ってくれ
俺は――

さようなら



無限剣舞
エンドレス・ソード



あの能力
やはり『終の国』の
刺客

!?

話を
聞いてくれ

俺はお前たちの
敵ではない

この近距離じゃ
砲撃は無理ね

私なら
私の力で――

始末して
あげる！

おやめください
昨日お力を
使ったばかり

構わないわ
この戦いを
終わらせるために

何だあれは
職業の力とは
違う…

待ってくれ
――

相変わらず
華耶(かや)は人の話
聞かないね

!?

このある
るのよ――
の力は

久しぶり

華耶

フィー

ちゃん…？

裏切られた
Sランク冒険者の俺は、
愛する奴隷の
彼女らと共に奴隷だけの
ハーレムギルドを作る

シュピュリール大陸は大きく4つの領土に分かれている

湖の都

玄政砦

終の国

平原地国

エギルたちが着岸したのは

広大な湖に街が浮かぶ

湖の都

第31話

エキゾチック・邪・パンツ

本当に
久しぶりね

フィー
ちゃん

それで――

彼は？

エギルは
今の主

よろしく
頼む

ふーん
そう…

……

これは
交渉が大変
そうだな…

ポリ…

ここが
二人の部屋よ

あとで食事を
持って
こさせるわ

ウロウロ

警戒されてるな

この大陸の人間は

人を簡単には信じない

しかし彼女と知り合いなら

さっきはもっと早く止めてほしかったな

ここではエギルの称号は意味がない

だからエギルの力を見せたかった

移住の交渉の材料として か？

そう――

――で

ごくり
華耶の
見た目は
どうだった？

耳や尻尾の
ことか…最初は
驚いたが
いったい
あれは？
華耶に
直接聞いた
ほうがいい

それを打ち明けて
もらえるように
なれば
交渉も
うまくいく
と思う

華耶様
なぜあの男を
都に入れたの
です？

フィーちゃんの
知り合い
だからよ

しかしあの男
フェゼーリスト
大陸の者

あの力も
『終の国』に
加勢する二人組と
同じでは

だけど――

みんなの
気持ちは
わかるわ

現状では戦力が
足りないのも
承知のはずよ

あの男の
手を借りる
おつもりか？

まだ
そこまでは
信用できない
けど

あの力が
あれば
今の窮地を覆せる
かもしれない

とりあえず
彼らは私が
引き取るわ

あの男への
警戒怠らない
でね

はっ!!

華耶様は
何をお考え
なんだ…

吉と出るか
凶と出るか

凶が出たら
恨むわよ
フィーちゃん

それは
大丈夫

!?

どうしたの
フィーちゃん？

二人で話を
したかったから

そう…
向こうでの
暮らしは
どうだった？

ずっと
気がかり
だったわ

わたしも
会いたいって
思ってた…

でも――

で…でも
こうして また
会えたんだし…

幸せに
やってるの？

うん

今は楽しい

エギルが
作った王国の

みんなが
いるから

彼が
王なの？

もっと丁重に
扱うべき
かしらね

エギルは
そういうの
好きじゃない

それで
華耶に

お願いが
あるの

エギルの王国に

みんなで移住してほしい

本気？フィーちゃん…

本気

そう…

無理よ

彼のことや場所とは関係なくね

ずっとみんなが
大切にしてきた
この土地を

この都を
守るのが
私の宿命

『終の国』の
侵攻から

逃げ出す
わけには
いかないわ

だから
フィーちゃんの
お願いは
聞けないわ

わかった…
あとはエギルに
任せる

でも
華耶

まだ契約
できてない
でしょ

宿主を
殺す力――

ズキッ

ズキッ

くっ…
ええそうよ…
だけど

全て終われば
この力も必要
なくなる
こんな――

大丈夫
華耶？

はあ
大丈夫よ

はあ

昨日　力を使って
少し苦しいだけ

はあ
はあ

フィーちゃんも
部屋に
戻りなさい

……

わかった…

華耶
わたしがここへ
来たのは

エギルの
手助けをする
ためと――

ギュッ

ユリシスと
華耶に救って
もらった

恩返しを
したかったから

別に
いいのよ

私たちは
家族でしょ

フィーちゃん
ユリシスに
会いに行くの
？

うん
……

今度は
ちゃんと

別れの挨拶と
お礼を
伝えたいから

それじゃ
おやすみ

おやすみ…

『別れ』と
『お礼』と

だったら

なおさら

フィーちゃんは

ここにいては
駄目よ――

翌日

カーン

カーン

カーン

敵襲ーっ

敵襲ーっ

どうしたんだ？

ガヤガヤ

『終の国』が攻めてきたのよ

ついてくるといいわ

見せてあげる

この国のありさまを

せっかく
キメても
お尻まる見え
なんだよな…

第32話
俺は出る、俺は出す。

『湖の都』
『終の国』
国境付近――

あれが
「終の国」の軍勢か
しかし…

覇気を
全く
感じないな

彼らは人の姿を
しているけど
魂が無いのよ

つまり
死んでいると
いうことか？

そう…だから
私たちは彼らを
こう呼ぶわ

『死人（しびと）』
と！

「死人」か…
彼らに
まつわる力は
魔物を操る
レヴィアの力に
似ている
もしや――

これは職業の
力か？

ええ
傀儡師（くぐつし）と名乗る者が
「終の国」に加勢して
いると聞いたわ

異能の力に
対抗できるのは
私の力だけ――

ズズ…

おいでおいで
悪魔の魂

華耶！

おやめ
ください
くだ

貸して貸して
悪魔の力
この地を守りし紅の
巫女が願い奉る

捧げるは
巫女の鮮血
喰らうは狐の化身
刹那（せつな）たる願いを
ここに――

封印開放

悪神（あくしん）

九尾（きゅうび）！

悪神九尾
私の可愛い
ペットよ！

こ…
これは？

可愛い…
のか？

さあ――

存分に喰らって
来なさい

我々も
続くぞ

おおおお
——
っ

圧倒的じゃないか……

今はね

今は？

くっ……

スキ

華耶

どうした大丈夫か？

九尾が…消えていく！

九尾の力は強力…長時間召喚することはできない

つまり
エレノアが聖獣を
召喚した時の
魔力切れと
似た感じか…

それとも
何か別の
代償が――!?

フィーは
華耶を守れ

うん

俺は
出る!!

どうして
？

あなたには
関係ない
でしょ

昨日の食事が
うまかった
礼だと
思ってくれ

何て
強さだ
まるで
鬼神のようだ
彼は何故
手を貸して
くれるの？

エギルは
そういう人
だから

お人好し
なのね

だけど

ギュルッ

ユリシスに
似て

ﾘﾛﾘﾛ

ﾘﾛﾘﾛ

誰にでも
優しくできる
人だよ

ドクン

ユリシスに…

ドゴ

うん

だからきっと華耶にも手を差し伸べるよ

今まで誰も私を救おうともしなかった

今まではね

でもエギルなら

華耶が一人で背負ってきたものを解放してくれる

無限剣舞（エンドレス・ソード）

彼に——

おおおおお

期待してしまって…

いいの？
ハラハラ…
華耶っ!!

第33話

契約時に必要な淫姦

今は
九尾の社で
安静にして
おられるが

華耶様の
お身体は
もう限界じゃ

誰でもいい
早く華耶様と
契約せい！

契約には
死が伴うの
ですよ

老い先短い
あなたたちが
契約すればいい

死ぬとは
限らん

華耶様とて
若い者のほうが
いいじゃろうが

契約？

九尾は具現化された代償に血を召喚者に求める

でも一人では賄えないから血を補うための契約者が必要になる

華耶は誰とも契約してないから

空腹状態で激しい運動をしているみたいなもの

どうして契約しないんだ？

華耶の母親も召喚者で契約者の夫の血を吸い続けて死なせ

本人も全身を襲う苦しみの中 華耶を産んで死んだらしいよ

それで住民たちは
死を恐れ 華耶も
皆に両親と同じ苦しみを
味わわせたく
ないから

そんな運命を
一人で背負って
いるのか…

もしかして
華耶を救うため
俺を？

わから
ない
……

ううん
そうかも

お願い
華耶を
救って

エギル

……誰？

エギル……さん…

ガバッ

動いて大丈夫か？

私……戦の途中で…

ズ

エギルさん この国への助力 長として 感謝申し上げます

やめてくれ 勝手にやったことだ

しかし
誰も華耶を
救おうとは
しないのに

何故 民を
助けようと
するんだ？

頼ってくれた
から…かしら

誰かに頼られると
嬉しかった
それが私の
存在意義

俺も
頼られるのは
嬉しいが
それ以上に

誰かを救い
幸せにする
ほうが好きだ
だから――

その意味
わかっている？

この先 死ぬまで
あなたの血を
求められるのよ

ゴクリ…

フィーが華耶を
救ってくれと
頼んできた

俺も救いたいと
思っている

俺は死んだり
しない

契約
しよう！

本当に
……

お人好し
ね…

くっ…

ちゅぷ ちゅぷ

じゅぷ

んちゅ♥

あむっ

ちゅぽっ

華耶…？

はあ

はあ

エギルさんの血を吸ったせい？

か…身体が熱い……

はあ

血だけじゃ満足できない身体が疼くのエギルさん…

来て——

はぁ…

いいのか？

ええ
心も身体（からだ）も結ばれて
本当の契約になるのだと思う――

んあああ♡
あああ♡っ

少し触れただけでこんな快感が……
もし肌どうし触れ合ったら……

はあ

はあ

エギルさんも脱いで

ああ

バッ

私の肌を直接感じて

ぷにっ

敏感だな
そんなにいやらしく
反応して

びくっ

びくっ

だってこれは
エギルさんの血を吸って
…あっ♡

じゃあ俺も
たっぷり
吸ってやる

ずりっ

ビクッ♥

はぁ♥

ビクッ♥

あぁぁー♥
そうよ♡

エギルさんの血が温もりがそうさせたの…

ハァ ハァ

責任とってね…

じゃあ挿入(いれ)るぞ

は…は…挿入(はい)ってきた……

あっ♡

大丈夫か華耶

ええ気持ちいい…

もっと動いてエギルさん

ズコ

ズコ

あぁ

ばん!!
あ♥
あぁん
ぱん!!
ぐちゅ
ぐちゅ
あぁ♥
激しい
こんな神聖な場所で
エギルさんに
女にさせられて
興奮してる
ぐちゃ♥
ぐちゃ♥
ズボ!
あぁ♥
でも
やめられ
ないの!
あん♥
俺もやめられない
…出すぞ!

ギュッ ギュッ

え!?
出すって
何を?

何を出すの
エギルさん?

ビクッ

あ…あ

ビク!

ダメ…

これが精液…？
もっと欲しい…

ごめんなさい
エギルさん
腰が勝手に
動いちゃう

じゅぷ♥

じゅぽ♥

あ♥

華耶？

あ♥

悪神九尾を宿した者は
契約者の全てを欲するの
…でも

ぷるん

このままじゃ
何もかも吸い取って
しまいそう…

ぷるん

いくらでも搾り取れ！
俺は華耶の全てを
受け入れる!!

ああ―
イクぅう♡

準備できたわ

じゃあ行きましょう

九尾の力を奪いに

『湖の都』へ！

ドウ!
バシュ
とってきなさい悪神九尾!!
ポーン
ブン
本当にペットなのか……

裏切られた

Sランク冒険者の俺は、

愛する奴隷の

彼女らと共に奴隷だけの

ハーレムギルドを作る

華耶との一夜の後…

バッ

くっ
身体が動かない……
ううう……

ど…どうして
ここに
エレノアが!?
ジュッ
ジュッ
人を助ける
ためとはいえ
すぐエッチなことを
してしまう
だらしない
おチンチンを
ちろ…
ちろ…
ぺろっ
お仕置き
するため
です♡
ちゅぽ♥
ちゅぽ♥
で…出る
エレノア
ビクッ

駄目です
それでは
お仕置きに
なりません

パッ

今日はいつもと
逆にエギル様を
わたくしたちが
攻めますね

な!?

エレノアが
二人!?

今度は
Wおっぱいで
参ります

エギル様
わたくしも気持ち良く
していただけますか

エレノアが
三人…

ぱぁっ♡

いや これは――

く…いつもの
二倍の乳圧
す…すごすぎる

ムニュ

ムニュ

エレノアハーレム!!

性欲モンスターのエレノアが一人でもキツいのに

この数では……

ではわたくしから挿入(いれ)ますね

ズルいですわたくしが先です

もういいまとめて相手してやる!!

はあ

はあ

あっ♡
あっ♡
ズチュ
ズチュ
あぁ
激しい♡
無限剣舞（エンドレス・ソード）！
ズコ
ズコ
あっ♡
ズコ
ズコ
あぁ
駄目ぇ♡
イク
イク
イっちゃう♡
あん
エギル様
いっぱい
キスして
ください♡
ああ——♡
熱いのが
奥にいい♡
ズブ
ズブ
ズブ
ルルルルル
これで満足
してくれた
だろう…
はー
はー
エギル様

わたくし達はまだ

満足してませんよ

うおっ

ハグ

うなされていたけどそんなに怖い夢を見ていたの？

お…俺は寝ていたのか……

ああ…そうだな

恐ろしい夢だった――

くしゅんっ

エレノア風邪？

⑤巻へつづく…

次巻予告

NEXT

新大陸クライマックス!!

エギルを絶望から救った男

死人を操る者！

残された女たちも
覚悟を決める…！

ああああ――っ

YJ ヤングジャン YJC

裏切られた Sランク冒険者の俺は、愛する奴隷の彼女らと共に奴隷だけのハーレムギルドを作る 5

Betrayed S Rank adventurer I make slave-only harem guild with my loving slaves.

VOL 5

原作 柊 咲　漫画 川田暁生　キャラクター原案 ナイロン

2022年春、発売予定!!

裏切られたSランク冒険者の俺は、
愛する奴隷の彼女らと共に
奴隷だけのハーレムギルドを作る

４巻

柊咲
© 柊咲 2021, 2021
川田暁生
© 川田暁生 2021, 2021
ナイロン
© ナイロン 2021, 2021

初版発行　　2021年
デジタル版発行　2021年

発行所　集英社
http://www.shueisha.co.jp

この作品は、デジタル配信用に再編集を行ったものです。

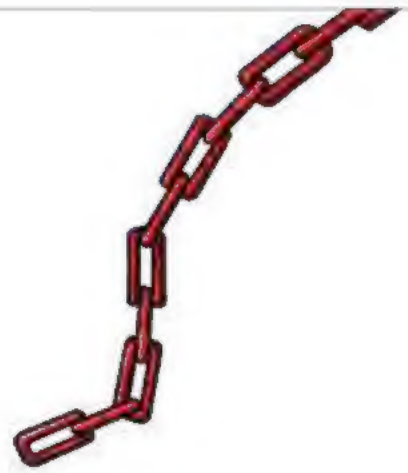
本作品の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、改竄、公衆送信（インターネット上への掲載を含む）することは、法律で禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードなどの著作権保護技術を解除して行うことはできません。

YJ ヤングジャン YJC

裏切られたSランク冒険者の俺は、愛する奴隷の彼女らと共に奴隷だけのハーレムギルドを作る 4

原作 柊咲
漫画 川田暁生
キャラクター原案 ナイロン

集英社



Betrayed S Rank adventurer
I make slave-only
harem guild with my loving slaves.

原作
柊咲
Hiiragi Saki

10月の北海道、この時期の気温が一番好きです。
ですがきっと、皆さんがこれを読んでる頃には、
私はストーブの前で「早く暖かくなれ」と願ってるでしょう。

漫画
川田暁生
Kawada Akio

ラーメンが好きです！
ラーメンなら毎日食べられます！

Cover Design : Shinya Oshiro (atd Inc.)

背表紙・カバー折り返し

※表記はコミックス発売当時のものになります。